




收受年月日	議長	事務局長	書記
28・8・31			
第 93 号			平成 28 年 8 月 31 日

埴町議会議長 大縄武夫 様

総務常任委員会委員長 鈴木 茂



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件

少子化の現状把握とそれに伴う施策の在り方についての調査

2 調査の経過

本委員会は、本調査のため「こども園、多世代交流センター建設事業」及び「子育て支援事業」の調査により実施した。

(1) こども園、多世代交流センター建設事業

次の通りこども園、多世代交流センター建設事業の現状について担当課長の説明を聞いた。

- ①実施日 平成 28 年 7 月 6 日
- ②参加者 総務常任委員 (7 人)、事務局職員 (2 人)
- ③説明員 健康福祉課長
- ④場 所 委員会室

(2) 子育て支援事業

町が実施している子育て支援事業の現地調査を行い、次の通り当該事業の内容について担当課長の説明を聞いた。

- ①実施日 平成 28 年 8 月 2 日
- ②参加者 総務常任委員 (7 人)、事務局職員 (2 人)
- ③説明員 健康福祉課長、学校教育課長、生涯学習課長
- ④場 所 委員会室
- ⑤現地調査実施日及び対象

7 月 6 日 のびのび教室 (場所：埴町公民館、所管：健康福祉課)
対象者 0 才児～入園前のこども保護者
内容 親子遊び 親同士の交流

7 月 15 日 なかよしルーム (場所：埴町公民館、所管：公民館)

- 対象者 0才児~入園前のこども保護者
内容 親子での体験、遊び子育てサポーター研修
- 7月20日 子育てサロン（場所：図書館、所管：健康福祉課）
対象者 0才児~入園前のこども保護者
内容 親子遊び交流
- 7月21日 子育てサロン（場所：埜町公民館、所管：健康福祉課）
対象者 0才児~入園前のこども保護者
内容 親子遊び交流
- 7月28日 おはなし会（場所：図書館、所管：図書館）
対象者 0才児~幼稚園児保護者
内容 パネルシアター 工作遊び 絵本読み聞かせ

3 調査の結果

(1) こども園、多世代交流センター建設事業

「こども園・多世代交流センター建設事業設計業務委託」公募型簡易プロポーザル実施要項、「こども園、多世代交流センター建設事業設計公募簡易型プロポーザル審査報告書、こども園・多世代交流センター建設設計業務についての提案書の入選者について健康福祉課長から説明があった。

「こども園・多世代交流センター建設に関する公募型プロポーザル実施について、こども園は現在の保育園の老朽化と待機児童対策のため、多世代交流センターについては高齢者の医療、介護予防、生活支援を一体的に提供するため、そして地域システムの拠点として整備したいと説明があった。

次にプロポーザル方式についての経緯、様式、選定方式が示され、参加者は12者あり1次審査を通過した4者によるプレゼンテーション及びヒアリングを5月26日に行った。審査の基準として、「木のまち はなわ」を推進する建物であること、人に優しく自然に優しいこと、コストを抑制し維持費の削減に努めること、さらに多くの町民が交流できるなど人口減少を視野に入れた施設か、話し合いにより設計を変更することが可能かなどを茨城大学の斎藤教授を選定委員長とし、担当課長が委員となり審査し、入選者と次点者を決定した。入選者は、郡山市のエューエム構造設計株式会社 代表取締役濱尾博文であった。

次に、質疑応答を行ったが次のようなことが話し合われた。

Q 建設する場合補助金はあるのか。

A 幼稚園の部分のみである。それ以外は過疎債で対応するしかない。

Q 地質は大丈夫か。

A 地質調査を行い場合によっては基礎杭を打たなければならない。

Q 担当課はどのようになるのか。

A 一つの担当課が必要かもしれない。

次に、委員間で意見交換が行われ、この施設の建設について前に進めるべきとの意見と、既存の施設をリフォームするなど見直すべきだとする相反する意見があった。

個人的意見ではあるが、施設建設にはお金がかかるが一度造れば 50~100 年のものであり、より良い環境のもとで一刻も早くこども達を育児、教育して行くことがベストではないかと思う。

(2) 子育て支援事業

町内で実施している、子育て支援事業を視察し、現状を把握して、問題点があるかどうか調査した。最後に委員間で自由討議を行った。

所見

- 1) 各事業とも参加者が少ない。
- 2) 場所が狭いところもあり同一場所でない。
- 3) 担当課が別で同じような支援事業を行っている。
- 4) 遊具が少ない(場所の広さとも関係がある)
- 5) お母さん達がとても助かっている。
- 6) 土日開催、時間の延長、回数を増やすなどの要望がある。

まとめ

当町で行っている子育て支援事業は数も多く行き届いていると思う。ただ同じような内容で担当課が別れていることや場所が一カ所でないこと、狭いこと遊具が少ないことが気にかかる。これらが原因の一つになっているかどうかわからないが参加者が少ないことが残念である。周知もよくやっているのに他に原因があるとすれば究明して参加率を上げることが必要ではないか。子育て全般に言えることだが赤ちゃんから義務教育が終わるまで担当課が一つであることがよいのではないかと思う。

(3) 委員報告書

別紙のとおり

議員派遣・委員派遣




調査研修等報告書

平成 28 年 8 月 29 日

議会議長

総務常任委員会

鈴木 茂委員長 様

收受年月日	議長	事務局長	書記
28・8・29	委員長		
第 号			

提出者 七宮 広樹

派遣目的 (調査等名称)	子育て支援事業 (のびのび教室) 現状調査		
派遣の日時	平成 28 年 7 月 20 日 (水) 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 平成 28 年 7 月 28 日 (木)	派遣先 (場所)	町立図書館・埴町公民館
内 容	子育て支援事業 (のびのび教室の現状調査)		
派遣結果 (意見及び 感想)	<p>子育て支援事業の「子育てサロン」・「おはなし会」を訪問して、現状調査と活動状況を把握することが出来ました。</p> <p>また、保健福祉課長、公民館長から詳細について話を聞くことが出来ましたので、一連の「子育て支援事業」全体が見えてきました。</p> <p>今後は保護者の方々からの聞き取り調査を実施し、更に他町村の施設見学を行い、協議を重ね「こども園」建設に向けて方向性を確認したいと思います。</p> <p>今回の調査を終えて、(保護者が求めているもの)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者が利用しやすい環境整備と、豊富な情報提供の場・交流の場 ② 充実した支援メニューと、整ったサービスの提供 ③ 母子ともに楽しめ、役立つ場 (癒しの場) の提供 ④ 使い勝手が良く、便利な場の提供 ⑤ 常設子育て支援の場と、常に利用できる仕組みづくり <p>だと感じました。</p> <p>今後は個人的に「児童館」についても、調査をしたいと思います。</p> <p>※調査欠席 7月15日 (金) なかよしルーム (場所：埴町公民館)</p>		

收受年月日	議長	事務局長	書記
28.7.21	委員長	藤田	議員派遣・委員派遣
第 号			

様式 1

調査研修等報告書

平成 28 年 7 月 21 日

議会議長

松本 常任委員長

鈴木 茂委員長様

提出者 七宮 広樹

派遣目的 (調査等名称)	子育て支援事業 (のびのび教室) 現状調査		
派遣の日時	平成 28 年 7 月 6 日 (水)	派遣先 (場所)	埴 町 公 民 館
内 容	子育て支援事業 (のびのび教室の現状調査)		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>のびのび教室を訪問し、子育て支援事業の内容と活動を見ることができ、状況を把握し、調査することが出来ました。</p> <p>今後ほかの場所で行われている支援事業の「なかよしルーム」「子育てサロン」「おはなし会」についても、利用状況とニーズについて調査して行きます。</p> <p>行政と住民が一体となって「地域の子どもは地域で育てる」子育て意識の改革と、充実した環境づくりが大切だと再認識させていただきました。</p> <p>町が進める「こども園」建設についても、埴町は「子育てしやすい町・住みやすい町・暮らしやすい町」を見据え、未来を担う子供達の為に工夫とアイデアを協議し、町民の皆様に親しまれる「こども園」建設を進めていただきたいと思います。</p>		

議員派遣 調査研修等報告書

委員派遣 受年月日 議長 事務局長 書記
 28. 8. 5 委員長 平成 28 年 8 月 5 日

議会議長
 委員会委員長

議長	事務局長	書記
委員長	藤田	斎藤
第 号		

提出者 藤田一男

派遣目的 (調査等 名称)	1. こども園、多世代交流センター建設事業について 2. 子育て支援事業について		
派遣の 日時	7月6,15,20,21,28日 8月2日	派遣先 (場所)	町内
内容	こども園、多世代交流センター建設事業について 子育て支援事業について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1. こども園、多世代交流センター建設事業について。 この件については私は前から反対しておりましたが見直すべきと考えております。今回の町長選挙で当選された宮田新町長はこの事業は見直すといっています、町の出方を見て慎重に検討すべきであると考えられる。</p> <p>2. 子育て支援事業について。 のびのび教室、なかよしサロン、は参加者も少なく場所はとりあえず今のままで運営していくしかない。 お話し会は夏休み中ということもあり参加者は多かった。 この問題は今後幼稚園、小学校の統合も一緒に検討していくべきである。 とりあえずは学校の空き教室を利用して事業を進めて行ったらと考えられる。 あまりお金をかけないで既存施設を再利用していく方向で検討すべきである。</p>		

議 員 派 遣		調 査 報 告 書	
受 取 年 月 日	委 員 長	藤 田	藤 田
20・7・14	第 号	藤 田	藤 田

平成 28 年 7 月 14 日

議 会 議 長

委 員 会 委 員 長

提 出 者 藤 田 一 男

派遣目的 (調査等 名称)	1. こども園、多世代交流センター建設事業について 2. 子育て支援事業(のびのび教室)調査		
派遣の 日時	7 月 6 日	派遣先 (場所)	委員会室、公民館
内容	1. こども園、多世代交流センター建設事業について 2. 子育て支援事業(のびのび教室)調査		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1. こども園、多世代交流センター建設事業について まだプロホールの段階でありその進捗状況は分かりました。本契約には いたってない。 新町長はこの事業は見直すといって当選を果たした。私もこの事業には反 対してきた経過ある。議会では行政がどのような 方向に向かうのかを見定めてから調査検討すべきである。</p> <p>2. 子育て支援事業(のびのび教室)調査 こどもが少ないのでよく把握できないがこどもより大人の人が喜んでい るように見受けられた。</p> <p>私の考えとしては、今後幼稚園、小学校の統合問題が近いうちに出て来る。 そうすれば空いた園舎や、校舎を再利用すれば経費もあまりかからない。 議会としては安い経費で十分なサービスができる(町民に対して) 今は学校の空き教室などを利用して事業を継続し2,3年のうちに方針を 決めて行けばよいのではないかと。できれば速い方がよい。</p>		

議員派遣調査研修等報告書
 委員派遣年月日 調査 議長 事務局長 書記
 28. 7. 20 委員長
 第 様 号

平成28年 7月20日




議会議長
 委員会委員長

提出者

劉貝新

派遣目的 (調査等 名称)	子育て支援事業		
派遣の 日時	7月6日 10:30	派遣先 (場所)	埴町公民館
内容	のびのび教室		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	保育士 指導のもと、親子で童謡に 合わせハイハイ運動、明日の七夕に かわる物づくり 教材の準備など 1人ではできな 母親に安心感をあたえるのと感じた		

議員派遣
委員派遣
調査研修等報告書

收受年月日	議長	事務局長	書記	平成 28 年 8 月 3 日
28.8.3 様				
第 号			提出者	新貝 新一

議会議長
委員会委員長

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会事務調査		
派遣の 日時	平成28年8月2日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	子育て支援事業について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	若い母親には 子育ての不安解消 安心感を与られ 良い事業. であると思ふ。 しかし、忙しくて 時間がとれない人や つきあいがなくて 知らない人の中からは 参加しづらいのでは無いかと 感じた		

議員派遣
 〇 委員派遣

調査研修等報告書

收受年月日	議長	事務局長	書記
28.8.5	委員長	藤田	
第 号	鈴木		

28年8月4日

大縄 武夫 議会 議長
 〇 鈴木 茂 委員会 委員長

様

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	子育て支援事業 総括報告		
派遣の 日時	平成28年8月2日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	「子育て支援事業」の総括会議		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>総括意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、公民館、図書館に幼児用トイレがないので不便。 2、各課の管理は統合すべき、棚倉町は「子ども課」がある。 3、一箇所での開催をして欲しい。 4、東白川4町村の子育て事業の取り組みは、最下位である。 5、多町村からの子供の利用を受付けていない。棚倉は可能。 6、4町村間で子育て施設利用や協力が必要 7、父兄さんから、祝祭日の開催を望む声がある。 8、遊具が不足している。木工組合と相談すべき。 <p><u>全体的に見て、参加者が少ない。町担当課の狙いで、「子育てや家庭教育についての情報交換や子育ての不安を相談できる場所を作る。」、「時代を担う心豊かなたくましい子どもたちを全体で育む。」、「子どもの生きる力を育むため学校教育と社会教育の融合を図り地域の教育力の向上をはかる。」、その他、などの意図を書いているが、事業評価はどうなっているのか、主催側の問題点や達成度を聞きたい。</u></p> <p>事務局より「本当の町民の幸せを考えるべき」との話も出た。議員として、子育て世代の悩みや町への要望などを町政に反映させるのも仕事で、福祉向上に努めるのは当たり前だが、<u>その前に、我々は近隣情勢や他県の状況も見ずして、議論していても始まらない。議会として積極的に関連視察研修に挑み、時代に取り残されない政策提言をしなければならない。</u></p>		

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

大縄 武夫 議会議員
鈴木 茂 総務常任

收受年月日	議長	事務局長	書記
28.8.8	委員長	藤田	斎藤
第 号	金木		

平成 28 年 7 月 28 日

提出者 吉田 広明


派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会事務調査 子育て支援事業状況調査		
派遣の 日時	平成 28 年 7 月 6 日～28 日	派遣先 (場所)	埴町公民館、町立図書館
内容	1、のびのび教室視察／公民館（7月6日） 2、なかよしルーム視察／公民館（7月15日） 3、のびのび教室視察／図書館（7月20日） 4、母親教室（7月21日）市町村議会議員研修の為、欠席 5、おはなし会視察／図書館（7月28日）		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	1、子育て支援事業・のびのび教室 利用状況は、平日だった為か児童が少なく、少子化で町の思惑通りには、集まらないと思えた。		
	2、子育て講座・なかよしルーム 保護者・児童の交流目的と子育て相談や子育てサポーター（ボランティア）のスキルアップが主な目的で、子育てサポーターの企画を主体としているが、 <u>遊具の数が少なく思えた。</u>		
	3、子育てサロン・のびのび教室 今回も3組と少ない。お母さん達の交流の場と考えているとの説明。しかし、交流する父兄が少ない。		
	4、子育てサロン・母親教室 市町村議会議員研修の為、欠席		
	5、おはなし会／図書館 夏休み中なので、参加者は預かり保育児童40名、一般児童13名、大人12名、計65名であった。今回の参加人数や子育てカレンダーの予定を見ても、休日開催が行なわれていないでの、 <u>利用率や関心度を上げるためにも、開催曜日を考えて貰いたい。</u>		

現在の参加者を考えると、施設場所の面積の問題はないと思われるが、児童年齢別の遊具が少ないと言うお母さんの声も聞くので、更なる充実が必要と思う。例えば、安全に配慮した木工おもちゃなど。

結びに、町民から聞いた話ですが、「町内に遊び場がないので、棚倉町の「こどもセンター」や矢吹町の「未来くるやぶき」、西郷村「キッズランド西郷」に出向きながら子育てをしているので、町内にも欲しいとの要望が聞こえる。視察では参加者が少なく、複数箇所での開催とそれぞれのメニューがあるが、町内1箇所に集約して、職員の効率や通年開催を目指すべきと考える。駅前のこども園を取り組んでも、完成までに2年以上掛かり、建設費も莫大と成る。公的財産の有効利用を考えるば、常豊小学校の統合計画を早期に着手し、空き校舎をパーティション仕切りなどの工夫をすれば、それぞれの児童年齢別（0～1歳児・2～3歳児・4～5歳児）の教室や保育、待機児童解消、子育て交流カフェ、予防接種スペース、なども計画できるのではないか。

議員派遣
○ 委員派遣

調査研修等報告書

收受年月日	議長	事務局長	書記
28.7.8	委員長	藤田	平蔵
第 様 号			

平成28年7月8日

大縄 武夫 議会議長

○ 鈴木 茂 総務常任委員長

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会事務調査 「こども園・多世代交流センター建設事業設計業務委託」 公募型簡易プロポーザル実施要領説明		
派遣の 日時	平成28年7月6日	派遣先 (場所)	議会委員会室
内容	1、 こども園・多世代交流センター建設事業の説明 2、 総務常任委員会意見交換		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>こども園・多世代交流センター建設事業の説明を健康福祉課課長より説明を受ける。公募型簡易プロポーザル方式で、選考委員により最終選考に残った資料説明がある。設計プランを見る限り、基本的な計画指針としての要件に問題はないのは当然であるが、計画工事費は合計8億程度との説明もあったが、計画予定地は古い久慈川流域内で、水田や沼地であったとの話も聞いている。これらを加味すれば、地質調査は必須で、計画予算内では収まらないと思われる。もしもコンクリート杭工事が追加されれば、当初の見込み予算を大幅に上回るものと思われる。又、説明では、「財源は補助金や起債発行」とし、財源計画も未定との説明であった。</p> <p>総務常任委員会の意見交換会では、提出された計画書を進める意見と、<u>常豊小学校と塙小学校との早期統合を目指し、空き校舎となる常豊小学校の再利用を考え、既存公共施設の改修補助制度を検討しながら、こども園の利活用の意見が出た。</u>潤沢な財政の裏づけがなく、少子化の進む塙町を考えれば、もう少し我慢をしながら、既存施設を利用する方法もあるのではないかと思う。今後、宮田新町長の政策が出てくるので、十分な討議が必要と思う。</p>		

議員派遣 9 委員委員長		調査研修等報告書		平成 28 年 8 月 日
派遣月日	議長	事務局長	書記	
28.8.4	委員長	藤田	提出者	下重義人
第 号	金水			

議会議長
委員委員長

派遣目的 (調査等名称)	子育て支援事業等の視察		
派遣の日時	平成28年7月15, 20, 21, 28日	派遣先 (場所)	埴町公民館、埴町立図書館
内 容	保護者、子供同士が交流を深め子育てや家庭教育についての情報交換や子育ての不安を相談できるような環境（場所）が満たされているかの現状視察		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>視察を行なって感じたことは、参加人数の少ないことだ、なかよしルームの場合、町内の0歳児から幼稚園までの子供と、その保護者が対象であれば、もう少し多くても良いのではなかろうか、PR等も広報はなわ、IP告知端末による周知、チラシ配布など努力は行なっているようだが、町民、保護者等に浸透していないのではないだろうか、別な方法も考えてみたいものだ、又、場所の問題であるが0歳児からの子供達が利用するのであれば柔らかい床や、部屋の環境への配慮を望みたいものです。</p> <p>7月28日に埴町立図書館児童図書コーナーで行なわれた、おはなし会は参加者が多く、子供達が生き生きとした目で手話ソングと絵本、パネルシアター、大型紙芝居など体験した姿は大変意義がある企画だったと思います。</p> <p>場所の問題は、あれだけのスペース、および、設備があるので、町の財政を考えれば今ある施設も利用すべきだと思いました。</p>		

議員派遣
委員派遣
調査研修等報告書

議会議長
委員会委員長

議員派遣 委員派遣 年月日	議長	事務局長	書記
28.7.14	委員長	藤田	
第 号	提出者	下重 義人	

平成28年7月14日

派遣目的 (調査等名称)	総務常任委員会 総務常任委員会事務調査		
派遣の日時	平成28年7月6日 午前9時	派遣先 (場所)	委員会室、埴町公民館
内 容	<p>1. こども園、多世代交流センター建設事業</p> <p>2. 子育て支援事業（のびのび教室）状況調査</p>		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>現在の状況を見ていると、こども園、多世代交流センター建設計画はかなり見直されるのではないかと思います。</p> <p>菊地基文前町長が退任の挨拶の中で述べたように川の流れは絶えることがないように、こども園、多世代交流センター建設に向けて行きたいものだ。</p> <p>平成28年度一般会計当初予算は、前年度に比べ2億1,300万円の減となったが、この建設計画に向けて今年度は総額7,600万円が計上されている。</p> <p>たしかに、町の財政は厳しいものだが施設がないと、人口の減少を留めることが出来ないのではないか、若者達、子育てをしている人達、高齢者のみなさんのためにも今後、無くてはならない施設ではないだろうか、これから、協議により建設費の削減、利便性にとんだ少子高齢化対策の中核施設になれるように努力したいものです。</p>		

議員派遣 調査研修等報告書

委員派遣

收受年月日	議長	事務局長	書記	28年8月5日
28.8.5	委員長	藤田		
様第 号	鈴木			
		提出者	鈴木孝則	

議会議長

委員会委員長

派遣目的 (調査等 名称)	子育て支援事業視察		
派遣の 日時	7月15, 20, 21, 28日	派遣先 (場所)	公民館、図書館
内容	7/15 なかよしルーム 7/20 子育てサロン 7/21 子育てサロン 7/28 おはなし会		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	各種の子育て事業を視察したがいつも同じメンバーで参加者が少ないと感じた。なぜ少ないのかを考えてみると、周知が思わしくないのか、行きたいけど初めてなのでためらいがあるのか、近くに知り合いや同年代の子供を持つ親がいないので躊躇してしまうのか、祖父母に預けてあるのでその必要がないのか、保育園に預けているので待機児童の一部だけなのか等が考えられる。議員間討議で話題になったが施設面ソフト面でも決して他町村より子育て支援が遅れているとは思わない。いろいろ研修・視察をしてきたが「子育てとは何ぞや」の原点をもう一度咀嚼してみるのも一考かと思えます。		

議員派遣 Q 委員派遣	調査報告書記	平成 28 年 7 月 6 日
28. 7. 6	委員長	
第 号	鈴木	藤田

議会議長

Q 委員会委員長

提出者 鈴木孝則

派遣目的 (調査等 名称)	1、 こども園・多世代交流センター建設事業 2、 子育て支援事業（のびのび教室）状況調査		
派遣の 日時	7月6日	派遣先 (場所)	委員会室、公民館
内容	1、 こども園・多世代交流センター建設事業 2、 子育て支援事業（のびのび教室）状況調査		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>公募型簡易プロポーザル審査報告書の説明を受けたが土砂災害のリスクに備えての防護壁とか水害に備えての一部二階建てとか過剰ともいえる備えや、湯遊ランドのような施設配置等、疑問に思う点が散見された。</p> <p>新町長は見直しという公約を出したからには、自身なりの考えがあると思うので早く内容や概要について表明してほしい。同時に2年越しの案件であり議員もそれぞれ考えを持っていると思うが、議会としての考え方という形での集約は不可能なので議論は行いながら当面は執行側の考えを聞いたうえで提言や修正を提起し判断すべきと思います。</p> <p>また、待機児童に配慮しつつも拙速な事業推進を避け、小学校、幼稚園の統廃合を考慮しながら跡地利用を含め総合的な判断のもと進めてほしいと思います。</p>		